

令和3年10月

令和3年度沖縄県青少年赤十字高校協議会総会

9月20日に、沖縄県青少年赤十字高校協議会総会が開催されました。

県内 JRC 加盟校の代表生徒で構成される同会は、青少年赤十字関連行事の企画・運営を担っています。当日は、同会のメンバー9名と先生らが参加し、1年間の活動報告や役員改選が行われました。会長を務める浦添高校の宜保さんは、「コロナ禍で社会の求めるニーズも変化している。



最後に記念撮影

感想・反省

令和2年10月30日(金)に浦添市社会福祉センターにて沖縄県青少年赤十字大会を行いました。高校生48名、中学生3名その他、来賓など関係者合わせて名が参加しました。
 式典では23名の個人表彰と学校表彰が行われ、優秀校を受賞した浦添高の活動内容についての発表がありました。
 また、副会長の仲里 美耶さんと東江 結希さんによる青少年赤十字高校協議会の活動報告も行われました。様々な学校から生徒が来ており、今後のボランティア活動の刺激になりました。
 感染対策万全の会場で、マスク姿での交流となりましたが、役員皆で協力して取り組むことができました。
 今回の大会で、様々な人の協力があって構成、運営されている団体だということを感じたので感謝の気持ちをもってこれからも頑張ります。

活動報告で感想を発表するメンバー

今までの活動にとらわれることなく、新しいことにも挑戦してほしい。」と後輩を激励しました。

総会後は、青少年赤十字の実践目標である「国際理解・親善」について、先生から講話があり、持続可能な開発目標 (SDGs) を意識して活動に取り組むようアドバイスがありました。

ゆいクロス献血を実施しました

9月29日に日赤沖縄県支部災害救護倉庫前にて「ゆいクロス」献血を実施しました。

新型コロナウイルス感染症のために全国的に献血協力者数が減少している状況のなか、献血会場では受付開始直後から、看護師ら赤十字職員や、献血呼びかけに応じた近隣事業所の社員らが献血に協力しました。



感染防止対策がなされた献血バス内



休憩バス内の様子

献血会場では、受付で検温と手指消毒を行い、献血バス内においても看護師と献血者の間に飛沫防止のフィルムが張られるなど、感染防止対策が取られていました。

まだ暑さの残る午後の献血実施でしたが、400mL 献血で 41 名の方が献血に協力しました。